

平成24年

上砂川町議会会議録

第1回 臨時会

上砂川町議会

平成24年上砂川町議会（第1回臨時会）会議録目次

（1月13日）

議事日程	3
会議録署名議員	3
開会の宣告	3
開議の宣告	3
会議録署名議員指名について	3
会期決定について	3
新年のあいさつ	3
選挙第 1号 上砂川町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について	5
閉会の宣告	6
出席議員	7
説明のため出席した者	8
事務局職員出席者	8

平成 2 4 年

上砂川町議会第 1 回臨時会会議録（第 1 日）

1 月 1 3 日（金曜日）午前 1 0 時 0 0 分 開 会
午前 1 0 時 1 5 分 閉 会

○議事日程 第 1 号

- 第 1 会議録署名議員指名について
- 第 2 会期決定について
1 月 1 3 日 1 日間
- 第 3 選挙第 1 号 上砂川町選挙管理委員会及び同補充員の選挙について

○会議録署名議員

8 番	横	溝	一	成
2 番	水	谷	寿	彦

◎開会の宣告

○議長（堀内哲夫） おはようございます。ただいまの出席議員は、柳川議員から欠席の届け出がありますので、8 名であります。

理事者側につきましては、全員出席しております。

定足数に達しておりますので、平成 24 年第 1 回上砂川町議会臨時会は成立いたしましたので、開会いたします。

（開会 午前 1 0 時 0 0 分）

◎開議の宣告

○議長（堀内哲夫） 直ちに本日の会議を開きます。

◎会議録署名議員指名について

○議長（堀内哲夫） 日程第 1、会議録署名議員指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 117 条の規定によって、8 番、横溝議員、2 番、水谷副議長を指

名いたします。よろしくお願ひいたします。

◎会期決定について

○議長（堀内哲夫） 日程第 2、会期決定について議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日 1 日にしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（堀内哲夫） 異議なしと認めます。

よって、会期は、本日 1 日に決定いたしました。

◎新年のあいさつ

○議長（堀内哲夫） ここで、平成 24 年を迎え初めての議会でございますので、町長、教育委員長からごあいさつをいただきたいと思ひます。初めに、貝田町長、ごあいさつをお願いいたします。

○町長（貝田喜雄） 議長のご指示がありましたので、新年初議会に当たり、一言ごあいさつさせていただきます。

改めまして、皆さん明けましておめでとうございます。皆さんにおかれましては、2012 年の輝かしい新春をご家族ともどもご健勝でお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、皆さんご承知のとおり国内外の経済情勢は厳しさを増すばかりとなりまして、国外ではギリシャの政府債務危機に端を発した国債価格の暴落や欧州各国での金融危機が生じたところであります。また、国内におきましても政権交代後 2 年を過ぎた今なお政治経済の混迷、停滞が続いており、昨年 3 月に発生しました東日本大震災と福

島原発事故によりさらに混迷度が深まり、先行きが見えない憂慮すべき事態に立ち至っているところでもあります。このほか、現政権下では米軍普天間基地の移設問題やTPP問題など数多くの課題を抱えており、早い段階での確固たる対応が望まれるところでもあります。

多くの国民が不安を覚え、政治運営が危惧される中、昨年暮れには野田政権後初の2012年度予算が示されたところであり、一般会計ベースで2011年度より2兆円余り少ない90兆3,339億円で6年ぶりの減額となったものであります。しかしながら、基礎年金の国庫負担分の一部にあつては消費税増税分を組み込んだ年金交付国債で賄うほか、東日本大震災復興特別会計を設けるなど実質的な予算は過去最大の96兆円にも上るもので、一部マスコミでは無駄削減は後回しの規律なき予算であり、ばらまき型予算の何者でもないと報じられたところでもあります。必ずしも高評価を得ない予算編成ではありますが、私どもの行財政運営のよりどころとなる地方交付税にありましては、入り口ベースで前年度対比1.1%減となっております、出口ベースにおいては0.5%増の17兆4,545億円で平成20年度から5年連続の増額となり歓迎すべき結果であると、このように思うところでございます。本町では人口減少という大きな課題を抱え、少子高齢化対策や雇用の場確保を含めた地域振興対策の推進などが求められますので、今後におきましても地方交付税の総額確保に向け、関係者の皆様のお力添えをいただきながら要望活動を続け、課題解決に努力してまいりたいと考えているものであります。

現在平成24年度の予算編成作業を進めておりますが、昨年意を注ぎました子育て支援施策の拡充や高齢者の生きがい対策はもとより、新たに設立いたしました札幌ふるさと会を通しての企業誘致の取り組みなど、ありとあらゆる角度から制度施策や各事業の検証をし、町民の皆さんにとって実のある予算となるよう努めているところであります。

して、3月定例町議会においてお諮りをいたしますので、よろしく願いを申し上げます。

本町は脆弱な財政基盤にあり、今後の行財政運営も高いハードルの連続と思われませんが、この状況を抜本的に変えるすべがないことから、可能な限りの広域連携や共同事務の取り込みを図りつつ、行政全体のスリム化を進める中で町民の皆さんとの協働の町づくりをベースとして上砂川町を守っていききたいと思うところであります。いずれにいたしましても、本町の置かれる状況をしっかりと認識し、誤りのない町政運営におきまして職員とともに全力で取り組んでまいりますので、議員各位のさらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。新しい年を迎え、気持ちを新たに町民の皆さんが安心して暮らせる町づくりに努めてまいりますことを約束いたしまして、初議会に当たってのごあいさつとさせていただきます。本年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

○議長（堀内哲夫） 次、栗原教育委員長、ごあいさつをお願いいたします。

○教育委員長（栗原順道） 平成24年の初議会に当たりまして、教育委員会を代表して一言ごあいさつを申し上げます。

改めまして、新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、平成24年の新春を穏やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。皆様におかれましては、平成24年の新春を穏やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、子供たちの現状を踏まえ、生きる力をはぐくむという理念のもとより、4月より中学校において新学習指導要領がスタートいたします。これからの教育は、生きる力を身につけてほしい、生きる力をはぐくむためには学校だけではなく家庭、地域など社会全体で取り組むことが大切であるかと思えます。将来を担う子供たちが夢と希望に胸を膨らませ、個性豊かでたくましく、そして命を大切にし、思いやりの心を持った大人に成長して育ってくれることを願うことは、教育に携わる者はもちろんのこと、社会全体の役割である

と思います。どうか本年も引き続きご支援を賜りますようお願いを申し上げ、ごあいさつといたします。ことし1年よろしく願いいたします。

○議長（堀内哲夫） 私からも一言ごあいさつを申し上げたいと思います。

改めまして、明けましておめでとうございませう。議員、理事者の皆様方におかれましては、平成24年の輝かしい新春をご家族ともどもご健勝でお迎えになられたこと、心からお喜びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内外ともにいろいろな出来事がありました。東北の震災、福島原発復興問題、集中豪雨や台風、TPP問題、さらには急激な円高や世界的な景気後退など、まさに戦後最大の危機を感じる1年でした。こうした中、国の政治は流動的で、今なお国の財政等は混迷を深めており、今後未来ある政治、国民が安心できる政治を期待したいと思います。

当町の新年度予算につきましては、現在編成中と思いますが、人口減や少子高齢化問題、さらには新しい産業の構築等の課題を抱えるなど町財政を取り巻く環境は大変厳しいものと予想されますが、行政効果を上げられるよう一丸となって頑張っていかなければならないと思う次第でございます。もちろん私も議会におきましても、当町の財政状況は十分承知しておりますが、町民の皆さんのご理解、ご協力をいただきながらこの難局を乗り越え、明るく住みよい町づくりを目指し、皆さんとともに町政に全力を尽くしてまいりたいと考えております。

結びになりますが、議員の皆さん、そして理事者の皆さんの今後ますますのご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、初議会に当たりましてのごあいさつといたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

以上であいさつが終わりましたので、これから議事日程に従い、議事を進めてまいります。

◎選挙第1号

○議長（堀内哲夫） 日程第3、選挙第1号 上砂川町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について議題といたします。

本件につきましては、平成23年12月6日付で議長あてに、本町の選挙管理委員会委員及び同補充員の全員が平成24年1月19日で任期満了となり、選挙を行うべき理由を生じた旨の通知がございましたので、地方自治法第182条第1項及び第2項の規定により、議会において選挙管理委員4名、同補充員4名の選挙を執行することになりました。

この選挙の取り扱いにつきましては、議会運営委員会で協議した結果、選挙の方法は指名推選により行う旨の結論に達しました。

お諮りいたします。選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定により指名推選により行いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（堀内哲夫） 異議なしと認めます。

したがって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定いたしました。

お諮りいたします。指名の方法は、議長において指名したいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（堀内哲夫） 異議なしと認めます。

したがって、議長が指名することに決定いたしました。

本件につきましては、広く町内各層から選出することとし、商工団体、青年団体、自治団体にそれぞれ候補者の推薦をお願いいたしました。その結果、お手元に配付の候補者名簿のとおり各団体からそれぞれ推薦がございましたので、初めに選挙管理委員会委員を指名いたします。岡克人、大浦憲吾、門馬智、平間サツの4氏を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました

4名を選挙管理委員会委員の当選人とすることにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（堀内哲夫） 異議なしと認めます。

したがって、ただいま指名いたしました岡克人、大浦憲吾、門馬智、平間サツの4氏が選挙管理委員に当選されました。

次に、選挙管理委員会委員補充員を指名いたします。船水俊裕、野沢芳夫、佐々木諄、大橋佳代子の4氏を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました4名を選挙管理委員会委員補充員の当選人とすることにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（堀内哲夫） 異議なしと認めます。

したがって、ただいま指名いたしました船水俊裕、野沢芳夫、佐々木諄、大橋佳代子の4氏が選挙管理委員会委員補充員に当選されました。

次に、補充員の順位についてお諮りいたします。補充員の順位につきましては、ただいま指名いたしました順位にしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（堀内哲夫） 異議なしと認めます。

したがって、補充員の順位は、1番、船水俊裕、2番、野沢芳夫、3番、佐々木諄、4番、大橋佳代子の4氏の順位と決定いたしました。

◎閉会の宣告

○議長（堀内哲夫） 以上で本臨時会に付託されました案件の審議は全部終了いたしました。

したがって、平成24年第1回上砂川町議会臨時会を閉会いたします。どうもご苦労さまでした。

（閉会 午前10時15分）

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

議 長 堀 内 哲 夫

署 名 議 員 横 溝 一 成

署 名 議 員 水 谷 寿 彦

出席議員

議席 番号	氏名	1 臨
		1.13
1	堀内哲夫	○
2	水谷寿彦	○
3	斎藤勝男	○
4	数馬尚	○
5	高橋成和	○
6	大内兆春	○
7	川上三男	○
8	横溝一成	○
9	柳川暉雄	×

説明のため出席した者

役 職 名	氏 名	1 臨
		1.13
町 長	貝 田 喜 雄	○
副 町 長	奥 山 光 一	○
教 育 長	勝 又 寛	○
教 育 委 員 長	栗 原 順 道	○
監 査 委 員	道 藤 秋 夫	○
監 査 委 員	横 林 典 夫	—
議 会 事 務 局 長 監 査 事 務 局 長	是 洞 春 輝	○
総 務 課 長	西 村 英 世	○
企 画 振 興 課 長	林 智 明	○
住 民 課 長	高 木 則 和	○
福 祉 課 長	山 本 丈 夫	○
税 務 出 納 課 長	中 島 隆 行	○
消 防 長	川 下 清	○
教 育 次 長	永 井 孝 一	○
福 祉 医 療 セ ン タ ー 参 事	清 野 勝 吉	○
福 祉 医 療 セ ン タ ー 参 事	高 橋 良	○
福 祉 医 療 セ ン タ ー 主 幹	斉 藤 昭 彦	—
企 画 振 興 課 主 幹	佐 藤 康 弘	—
財 務 係 長	浅 利 基 行	—
水 道 係 長	西 井 洋 一	—
医 療 保 険 係 長	山 崎 数 浩	—

事務局職員出席者

職 名	氏 名	1 臨
		1.13
議 会 事 務 局 長	是 洞 春 輝	○
書 記	三 上 美 知 子	○